



▲コミュニケーションの場となっている定期清掃



▲自然の中に集合住宅などが点在する鎌田地区

地域の話題

衣笠校区(鎌田町内会)

まちをきれいに！

「安心安全 みんなで築こう 住みよい衣笠」を目標に、快適な生活空間の創造を目指す衣笠校区の鎌田町内会から、地域の清掃活動についてお便りが届きました。



鎌

田地区は、市営西鎌田住宅と東滝頭住宅を中心に、住宅地と農地が混在した地域です。近くに衣笠小学校があり、通学路の安全確保が課題となっています。また、区内を流れる庄司川にはゲンジボタルが生息しており、自然の保護も大切なテーマです。

毎月美化活動を実施

鎌田町内会では、毎月第2日曜日に、環境美化活動を行っています。また、年2回粗大ごみの収集や市道の草刈りも行います。

衣笠校区がまちづくり推進計画を策定するとき（平成18年）に行ったアンケート調査では、実に75%の方が、地域活動としてごみ拾いに参加しているという結果でした。

集合住宅のごみ事情

7月10日（日）の清掃活動には、住民約140人が参加しました。梅雨明けの暑い日差しの中、住宅周辺の定期清掃に加え、市道の草刈り、粗大ごみの回収も行いました。刈った草は、2トントラック4台分にもなりました。

集合住宅の入居者には、高齢の方や独居の方も多く、粗大ごみを出すこともままなりません。そのため、町内会として、年2回粗大ごみを回収し、資源化センターへの搬入を行っています。

支え合いで住みよい地域に

鎌田町内会の定期清掃は、住民の理解の下、浸透した活動となっています。



●粗大ごみ回収の様子

ます。集合住宅が多いと、ややもすれば隣近所のお付き合いや助け合いが希薄になってしまいがちですが、こうした活動を通じて、地域コミュニティの基盤がしっかり保たれていると感じます。

また、新しい住民にとっても、地域に親しみ、関心を持つきっかけとなるのではないのでしょうか。

これからも、住民の連帯感と支え合いをつなげ、もっと住みよい地域となるよう、活動を続けていきたいと考えています。

「取材・構成」衣笠校区まちづくりアドバイザー 荻部・林田